

第76回 ここからカフェ九品仏

戦後79年戦争体験を聞く会

地域の高齢の方々に戦争のお話を聞く機会を作りました。平和の大切さを心に刻んで、みなさんのお話をみんなで伺いませんか。

日時：2024年8月17日(土)
13:30～15:30
会場：九品仏複合施設 2階
講師：地域のみなさま
参加費：300円 ※要予約
申し込み：090-3961-8514 (湯澤)

第48回 玉田シニアサロン

『銀河鉄道の夜の旅』鑑賞

西野 肇 さん

宮沢賢治のファンタジー作品「銀河鉄道の夜」の執筆の謎に迫る異色のテレビ番組「ドキュメント・ファンタジー『銀河鉄道の夜』の旅～1923 宮沢賢治サハリン紀行の謎～」(宮沢賢治生誕100年記念スペシャル 1996年TBS系全国放送全72分 ギャラクシー奨励賞受賞)をご覧いただき、その後番組について歓談します。

日時：2024年8月4日(日)
14:00～16:00
会場：玉川田園調布会館
参加費：500円
お申し込み・お問い合わせ
03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

お隣さまお茶会

8月は夏休みといたします。
9月(音楽の予定)をお楽しみに!

ハウスの会員数

特別正会員 5名
正会員 28名
ニュース会員 69名

7月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫
月成麻未 高橋阿貴
小西玲子 柴田希美絵
昆野敬子

7

ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にてご確認ください

- 5日(金) 住宅まちづくり総合相談 / 砧総合支所
- 8日(月) プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢(タイヤ)公園
住宅まちづくり総合相談 / 世田谷総合支所
楽多の会定例会 / デイ・ホーム玉川田園調布
お隣さまお茶会 vol.101 / スペースえんがわ inn
- 11日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 12日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn
- 17日(水) 街角保健室 / スペースえんがわ inn
- 21日(日) タマデンmarche / アビターレ前
- 25日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 27日(土) ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2階
- 30日(火) 街角保健室ハートフルサロン「kotori」 / スペースえんがわ inn

8月、玉川まちづくりハウスの活動は、夏休みを
いただいているものが多いです。
マルシェもお休みさせていただきます。
9月15日(日)
また元気に開催いたします。



8

ハウスカレンダー

- 4日(日) 玉田シニアサロン 14:00～15:30 玉川田園調布会館
- 8日(木) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川谷総合支所
- 17日(土) ここからカフェ九品仏 13:30～15:30 九品仏複合施設 2階
- 22日(木) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所
せたがや防災 NPO アクション事務局会議 / オンライン 18:00～20:00

ハウスの最新の情報はHPをごらんください



HP: <https://tamamati.com>

みんなでホイッ!

8
2024

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085
東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 Email house@tamamati.com
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人(NPO法人)です。

コミュニティ・アイデアの現場から ～八幡ファームを地域の庭に～

伊藤雅春

玉川まちづくりハウス事務局の向かい側に小学校の学校菜園がある。バブルがはじけた頃、なかなか買われなかった土地を区が買い上げ、とても高価な学校菜園が生まれた。

柵の向こう側にある菜園をただ眺めて過ごす時間が過ぎていった。何年間か、地域のボランティアの方が作業をしている光景があった。そのうちそうした方の姿もなくなり、地域とこの菜園の関係はなかったのだが、何年かが経ち、「エコロジカル・デモクラシー」のセミナーに参加して、この地域のランドスケープを考えていた時に、突然この空間はこの地域の宝物のようなランドスケープであることに気がついた。それ以来この菜園を地域の庭として、地域と小学校を結びつけるランドスケープにすることが僕のコミュニティ・アイデアの一つとなった。

この学校菜園ができてからしばらくして、地下に100㎡の消火水槽が設置された。たまたま僕は町内会のポンプ隊員として毎月D級可搬ポンプを使用した放水訓練を小学校のプールをお借りして活動するメンバーの一人になった。その時、夏のプールの使用期間中はプールが利用できないこともあり、この放水訓練を菜園の地下にある消火水槽の水を使って菜園の植物に水をやることを兼ねて実施してはどうかというアイデアを思いついた。

今から6年前、2018年の4月に消防署にお願いしてこの消火水槽を使った放水訓練を一度だけ実施しこのたことがあったのだが、この時はまだこの菜園の価値に、それほど気づいてづいていなかったのである。

その当時から校長先生も替わり、先日改めて菜園での放水訓練のことを小学校に提案してみた。結果として教育委員会の施設管理担当から毎月の使用は認められないとの返事をいただいた。しかし、僕

としてはこのコミュニティ・アイデアを簡単にあきらめきれずにいる。

菜園そのものの管理は学校だが、校長先生のお話からは地下の消火水槽の管理が誰の責任なのかがはっきりしなかった。消防署の出張所に確かめてみると、消防が小学校から土地を借りていて、水槽そのものは消防が管理していることが分かった。消防署の隊長にはポンプ隊の自主的な訓練は必要であることを理解して頂き、使用について検討してみるとの回答を得た。

果たして、菜園の扉はコミュニティに向けて開くことになるのだろうか?

数日後消防所の隊長から電話をいただき、「市民だけでの消火水槽を利用した消防訓練は実施したことはないのだが、消防と一緒に一度訓練をしてみましよう。」との提案をいただいた。事故があると困るとの判断のようだ。

関係部署のいたるところでリスクを回避しようとする判断が下されて目の前の菜園の扉は簡単には開かない。コミュニティのささやかなアイデアはまだまだ実現しそうにない。

しかし、僕はこのことを新しいコミュニティ・アイデアとして何とかして実現したいと考えている。地域共同管理の道は意外と難しい。



2018年に実施した放水訓練

7月のmarcheは夏の縁日！



7月21日(日)のタマデンmarcheは、夏らしく縁日！

わなげ
うちわのマーブリング
魚釣りゲーム

カブトムシ、クワガタのプレゼントも加わり、子どもたちに楽しんでいただくことができました。用意して下さったスタッフ、手伝ってくれた名刺大学の学生さん、ありがとうございました。

猛暑の中来てくださった皆さんにも感謝です。



コーヒーだけでなく、チャイチームはジンジャーエールをkeyakiiガーデンに開店したミンナトリエさんからはレモネード、を販売。

冷たい飲み物に、癒されました。



暮らしのつづやき 8月



猛暑に注意

クーラーの効いた場所にばかりいたはずなのに、熱中症になりかけてしまいました。

最初は少し頭が痛い、くらいだったのですが、どんどん怠くなってきて、手元にあったお茶を飲んでも良くなり、どうしたものかと思ったのですが、もしやと思って経口補水液を飲んだらスッと頭痛が引いたので驚きました。ついアイスコーヒーやお茶ばかり飲んでしまっていたのですが、塩分補給の大切さを痛感しました。



桃の季節

友人に誘われて、桃が丸ごと贅沢に使われているパフェを食べに行きました。

細長いパフェグラスの上に、種がくり抜かれ代わりにクリームが詰められた丸ごとの桃が三つも載せられている迫力のある構造で、美味しかったけど、流石にお腹いっぱいになりました。載せられている桃を最初にビニール手袋をして両手で皿に取り分けるのですが、転げ落ちないように竹串が刺さっていて、なるほどよく出来ているなと感心しました。

地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただけて紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る
その21

第21回 玉川全円耕地整理事業・パート①

奥沢地誌保存会・染野和夫

前回まで「田園調布の街づくり」について4回に亘ってお話を致しました。今回からは、この田園調布の開発が主たる要因となって実施されることになった壮大な事業「玉川全円耕地整理事業」について説明致します。

大正時代中期の大正5年(1916年)、当時の東京市域の劣悪な住環境を憂いた渋沢栄一氏は、住居と庭園が共生する新しい形態の都市「田園都市」をつくらうと提唱、この計画を進めるため、経済界の仲間へ声をかけて大正7年(1918年)田園都市(株)を設立、開発の対象地を東京府荏原郡の多摩川河畔一帯の3つの地域(洗足村、調布村、玉川村等)として、即座に対象地の用地買収に取り組みます。そして僅か3年で合計約50万坪弱の土地買収を完了させています。更に、これらの地域と東京市街地を結ぶ交通の便を図るべく鉄道路線(目蒲線と大井町線)の建設に着手します。



田園都市(株)の本社社屋(大正7年)

大正当時、荏原郡のこれらの地域は主に東京市や川崎、横浜等に野菜を供給する近郊農村でした。そんな農地を企業がどんどん買収し宅地開発を進めていきました。こうして玉川村にも市街地化(宅地化)の波が押し寄せてきていました。



玉川村村長 豊田正治氏

大正12年(1923年)1月、玉川村の村長に就任した豊田正治氏は、「郷土の開発を企業にまかせては、いずれは土地の地主たちが滅びてしまう。それならば自分たちの手で土地を開発し、農作に適したところを整理し、交通機関の発達により、やがて訪れる住宅地化を見越した開発をすべきではないか!」と考えます。



玉川全円耕地整理地

そして、地元の有志と共に、玉川村全域を対象にした耕地整理の事業を組合組織により行うことを思い立ちます。これが『玉川全円耕地整理事業』です。この事業は1,100ヘクタール(約333万坪)に及ぶ壮大な規模で、世田谷区の面積の5分の1をしめるものです。

大正12年(1923年)1月の玉川村村会に於いて、この土地開発事業の企画は満場一致で議決されたことで基本計画の作成に着手すると共に、事業推進の為の組合設立に向けての準備を開始することになります。この後については、パート②で説明を致します。



視野の広さ

「次のキャリアとしてエチオピアを考えている」と話す女性と知り合いました。

エチオピアは人口が1.2億人、平均年齢が19歳なのだそうです。高原で涼しく疫病が少なく、アムハラ語という独自の公用語があるんだよ、と語るその人は楽しそうでした。そんな働き方を想像したことがなかったので、素直にすごいな!と感心しました。自分が見ているものの外にもっと広い世界が、物理的にも心理的にもあることを忘れずにいたいです。



ゲリラ雷雨

驚くほど暑いと思えば、急に激しい雨と雷になる日が何度もありました。

聞いたことのないような雷鳴に思わず体を凍めることも。高いビルの中にいたりすると、丁度あの辺りだけ集中的に雨が降っているのだとわかるような空と雲の様子をみる機会もあって、そういうときはついじっとながめてしまいます。自然はいつも大きくて恐ろしくて美しいです。

(貴)